

# 令和3年度 住宅市場動向調査 ～調査結果の概要(抜粋)～

---

# 調査の概要

## (1) 調査対象

令和2年度中(令和2年4月～令和3年3月)に住み替え・建て替え・リフォームを行った世帯を対象として、次に掲げる住宅の種類別に調査を行った。

	調査対象	調査地域	調査方法	調査票回収数
注文住宅	自分自身が居住する目的で建築した住宅に令和2年度に入居した方	全国	郵送調査	755
既存住宅	他の世帯が居住していた住宅を購入し、令和2年度に入居した方または入居予定の方		首都圏、中京圏、近畿圏： ※訪問留置調査  その他の地域： 郵送調査	1,074
分譲住宅	新築の建売住宅または分譲住宅を購入し、令和2年度に入居した方	首都圏 (埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)	※訪問留置調査	565
民間賃貸住宅	賃貸住宅(社宅などを除く。)に令和2年度に入居した方	中京圏 (岐阜県、愛知県、三重県)		575
リフォーム住宅	令和2年度に増築、改築、模様替えなどのリフォーム工事を実施した住宅にお住まいの方	近畿圏 (京都府、大阪府、兵庫県)		579

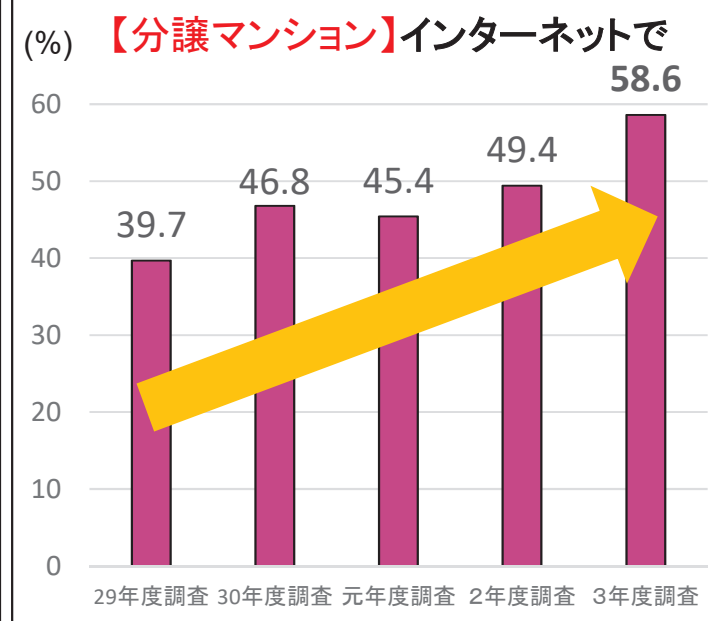
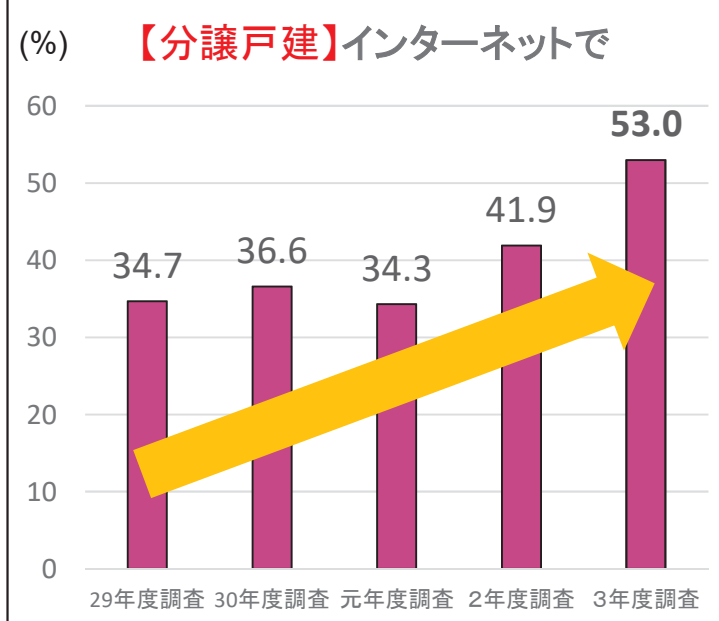
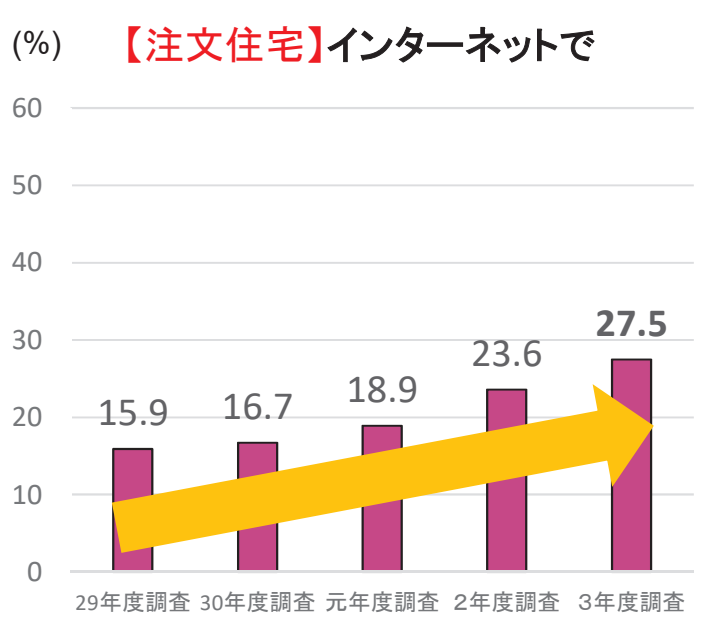
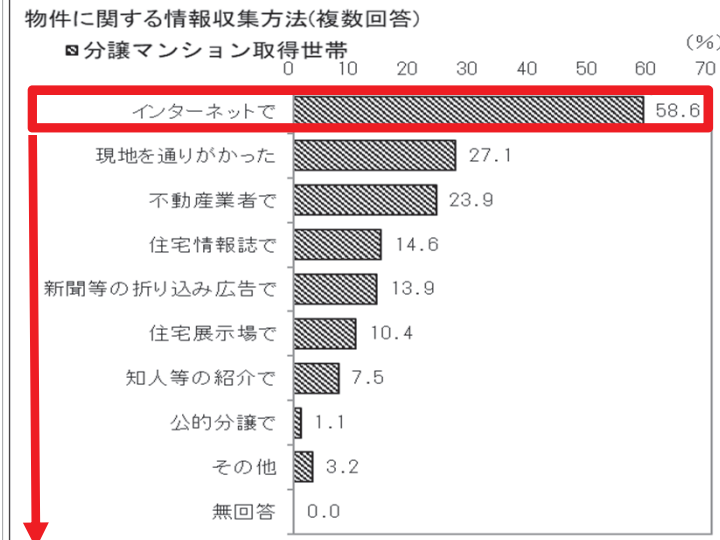
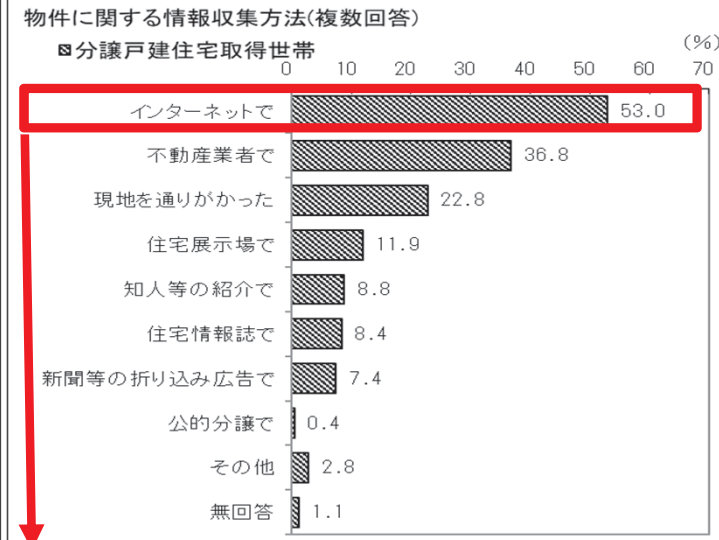
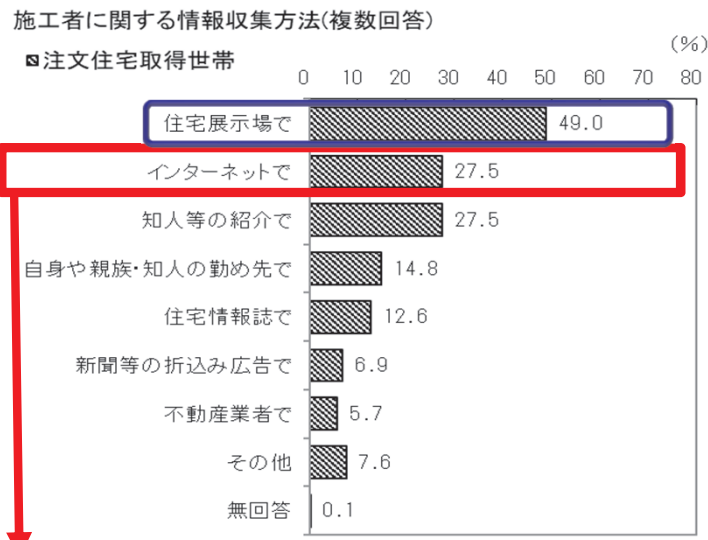
※訪問留置調査: 調査員が対象を訪問して対面で調査票の記入を依頼し、後日再訪問して記入済み調査票を回収する調査方法

## (2) 調査項目

住み替え・建て替え前後の住宅、その住宅に居住する世帯の状況、住宅取得等の資金調達の状況等

# 【参考1】物件・施工者に関する情報収集方法

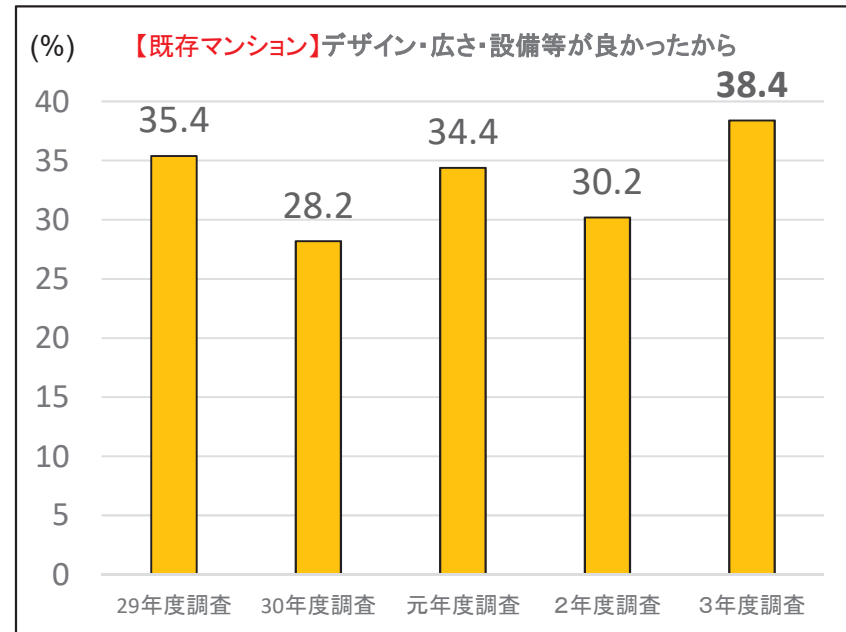
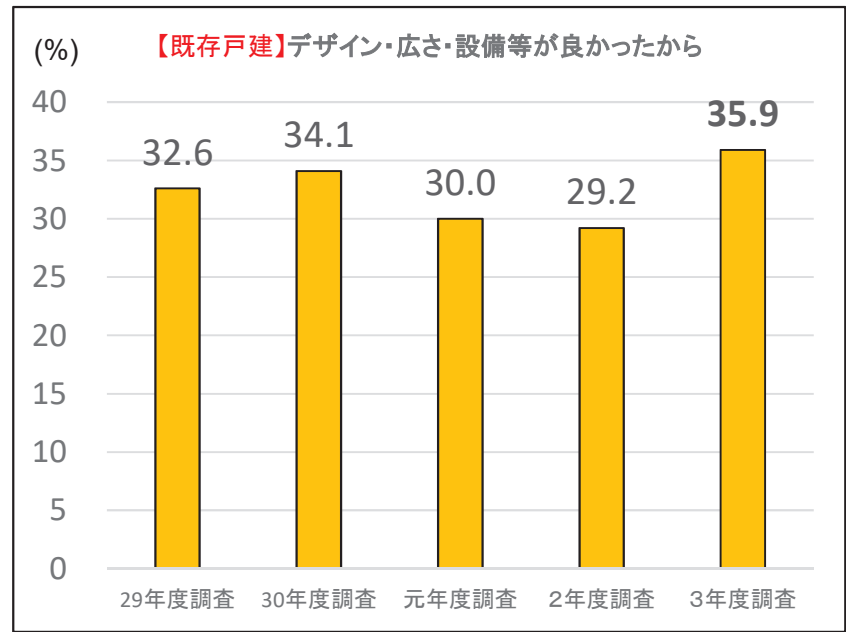
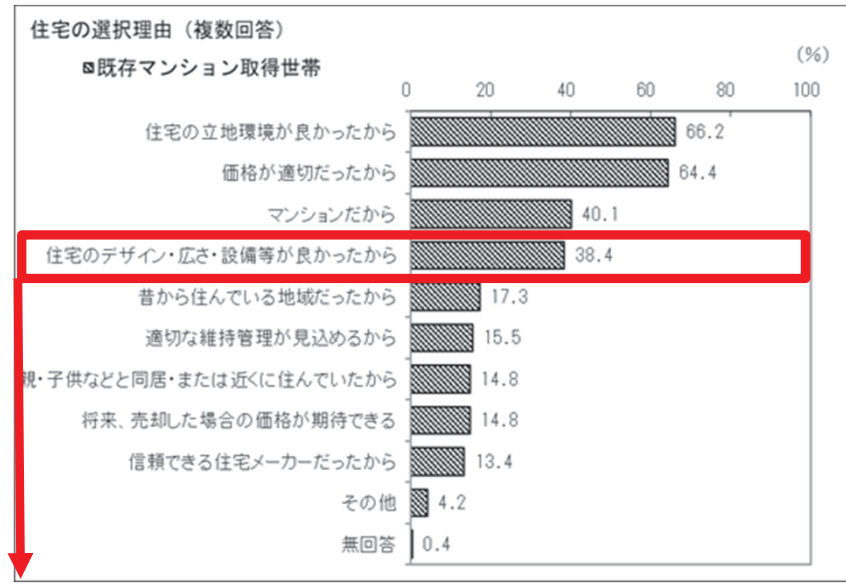
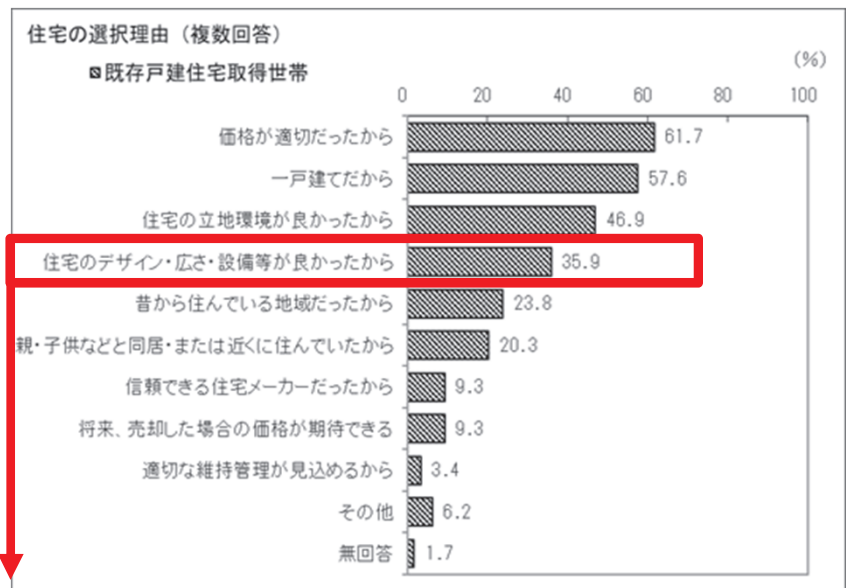
- 新築の物件・施工者に関する情報収集方法について、全ての世帯において「インターネットで」を選択した割合が5年間で大きく増加。
- 一方、注文住宅取得世帯では、「住宅展示場で」情報収集している世帯が直近5年間で5割前後の推移と変化なく、住宅展示場での引き合いが変わらず多いことが窺える。



※注文住宅は全国、分譲住宅は三大都市圏

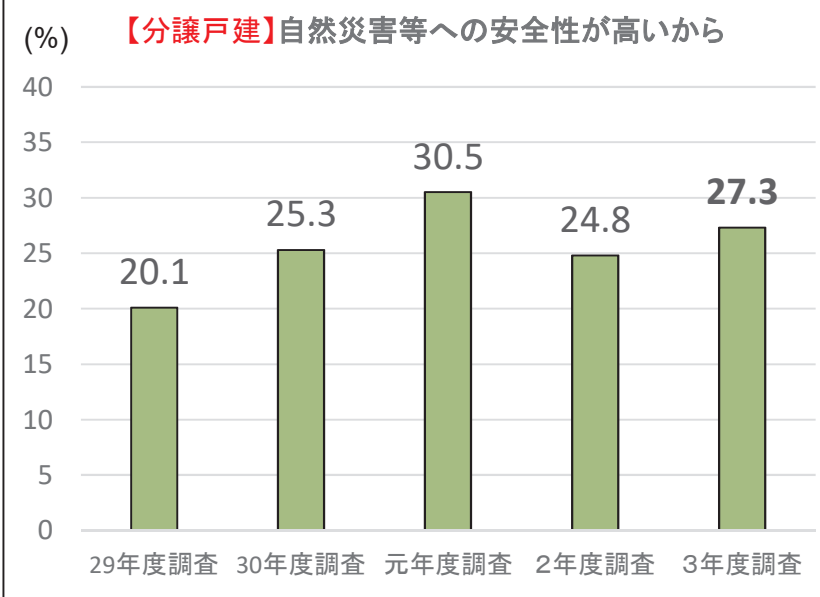
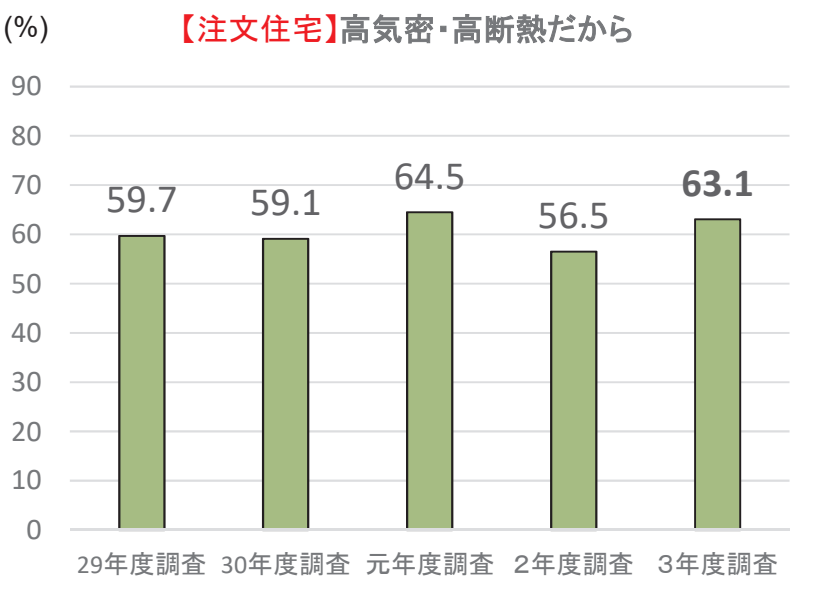
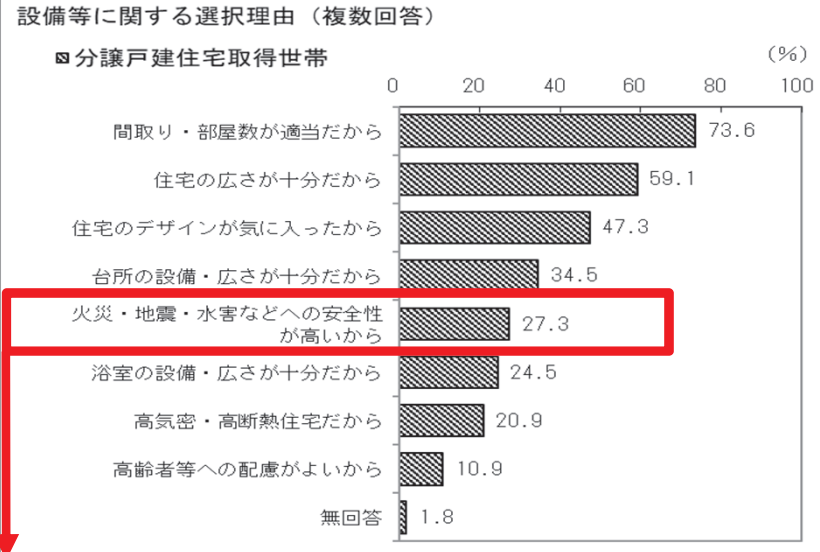
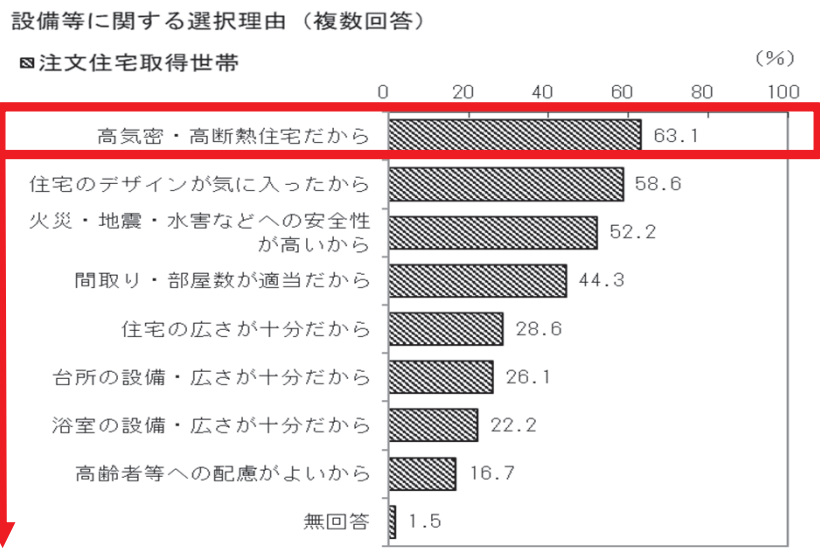
# 【参考2】住宅選択の理由

○ 住宅選択の理由について、**既存住宅取得世帯では「住宅のデザイン・広さ・設備等が良かったから」が前年度調査から増加**（既存戸建住宅取得世帯：令和2年度29.2%→3年度35.9%、既存マンション：令和2年度30.2%→3年度38.4%）。



# 【参考3】設備等に関する選択の理由(新築)

- 設備等に関する選択理由について、**注文住宅取得世帯**では「**高気密・高断熱住宅だから**」を選択した割合が最も高い。
- 分譲戸建住宅取得世帯では「**火災・地震・水害などへの安全性が高いから**」が前年度調査から増加(直近5年分の調査と比べても増加傾向)。



※注文住宅は全国、分譲住宅は三大都市圏

# 【参考4】既存住宅にした理由(しなかった理由)

- 既存マンション取得世帯が既存住宅にした理由として「リフォームで快適に住めると思ったから」、「リフォームされてきれいだったから」を選択した割合は、前年度調査から増加。
- 一方、分譲マンション取得世帯が既存住宅にしなかった理由として「隠れた不具合が心配だったから」を選択した割合は、前年度調査から減少し、直近5年分の調査と比べても減少傾向にある。

